

平成 29 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社フライトホールディングス
代表者の役職 代表取締役社長 片 山 圭 一 朗
氏 名 (コード番号:3753 東証第二部)
問 い 合 せ 先 代表取締役副社長 松 本 隆 男
金(こん) 浩 樹
電 話 番 号 03-3440-6100 (代)

人型ロボット「Pepper」向けソリューション共同開発に関する 株式会社ジェナとの業務提携のお知らせ

～PepperとAIが連携するプログラムレスソリューション「Scenaria (シナリア)」発表～

子会社の株式会社フライトシステムコンサルティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 片山圭一郎、以下当社）は、株式会社ジェナ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 手塚康夫、以下ジェナ）と人型ロボット「Pepper」の法人向けモデル「Pepper for Biz」に関するプログラムを WEB ブラウザによる操作だけで開発が可能なクラウドサービス「Scenaria (シナリア)」を共同開発しました。Scenaria を事業化するため、本日ジェナと業務提携することを決定し、締結したことを発表致します。

■Scenaria が誕生した背景

ソフトバンクロボティクス株式会社が 2015 年 10 月より提供を開始した法人向けモデル「Pepper for Biz」は、導入した企業で効果的な活用を行うにはタイムリーな更新が重要です。例えば多店舗を有する小売業では、イベントや新商品の入荷にあわせた商品紹介の増減、キャンペーン時の特殊対応など、運用する中でタイムリーなコンテンツの更新が求められます。その実現には、社内のシステム部門に頼らず、アプリ開発の経験が無いビジネスの主管部署でもコンテンツの更新ができるソリューションが重要と考えました。

■Scenaria でできること

このたび当社とジェナで共同開発した Scenaria は、こうした日々のコンテンツ更新を低コストでプログラムレスに開発できるクラウドサービスです。更に Scenaria は、ジェナの AI チャットロボットソリューション「hitTO (ヒット)」と連携し、お客様からの問いかけに対し適切な回答を AI と連携して生成することにより、様々な接客シーンにおける自動応対を可能にします。



Scenaria 利用イメージ

業務提携の内容、およびジェナの概要については以下の通りです。

1. 業務提携の理由

Pepper に関する高度な企画・制作ノウハウがあり、かつ人工知能の活用実績も豊富なジェナと、高度な技術力を持つ当社が協業することで、競争力のあるサービスを創りあげることができるため。

2. 業務提携の内容等

ジェナの持つ Pepper 及びクラウドサービスに関する企画・制作のノウハウをシナリアの開発に取り込んで共同開発を実施し、競争力のあるサービスを創造します。

また当社はジェナの AI サービス hitTO を Scenaria と組み合わせて販売し、ジェナも同様に当社 Scenaria を hitTO と組み合わせて相互に販売してまいります。

3. 提携の相手先の概要

(1)	名称	株式会社ジェナ	
(2)	所在地	東京都千代田区東神田 3-1-2	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 手塚 康夫	
(4)	事業内容	コンサルティング事業 クリエイティブ事業 ソリューション事業 新規事業	
(5)	資本金	1 億 7,330 万円（資本準備金を含む）	
(6)	設立年月日	2006 年	
(7)	大株主及び持株比率	役員 株式会社ジェーエムエーシステムズ （日本能率協会グループ） 三菱 UFJ キャピタル株式会社 ネオステラ・キャピタル株式会社 株式会社アマナ	
(8)	当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	業務の一部を委託しております。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(9)	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	非公表*	

* ジェナは非上場会社のため、先方からの要望につき上記事項は非公表となっております。

4. 契約締結日

2017 年 2 月 8 日

5. 今後の見通し

サービス開始が今春のため、当期の業績に与える影響はありません。今後については、Scenaria 及び関連する受託開発等を併せ 3 年後には 5 億円以上の売上を目指してまいります。

■業務提携による役割分担

各社の主な役割は以下の通りです。

当社	Scenaria と hitTO と連携させたビジネスの立ち上げ、及び hitTO に対する特注開発が発生した場合の技術支援。
ジェナ	優れた UI/UX を搭載したモバイル向け、ロボット向けアプリケーション開発の豊富な実績を基に Scenaria の UI/UX デザイン、及び hitTO との連携を担当。

当社の Scenaria とジェナの hitTO を組み合わせることにより、AI と連携する高機能なロボット向けアプリケーションを簡単に作成・運用できるようになり、多店舗展開企業のロボット導入時のアプリケーション開発における課題を解決致します。

■Scenaria 販売について

1. 価格

本ソリューションはクラウドサービスです。(税別)

	初期費用	月額費用	用途
Enterprise Edition	50 万円	20 万円	ユーザー管理機能等の搭載。 hitTo との連携版 (別途契約が必要)。

- 導入にあたり上記以外に、各企業様向けのコンサル費用が別途かかります。
- Pepper のプログラム開発費、Pepper 本体の購入、保守価格は含まれておりません。
- 上記は 10 台までの利用となります。11 台目以降は月額 5,000 円/台、101 台目以降は別途お見積もりとなります。

2. サービス提供開始時期

2017 年春

[ソフトバンク株式会社様からのエンドースメント]

Scenaria の発表と、株式会社フライトシステムコンサルティング様と株式会社ジェナ様の提携を心よりお喜び申し上げます。

ソフトバンク株式会社は、両社もパートナー企業として参加する「IBM Watson エコシステムプログラム」を通じて、IBM Watson を活用した革新的なソリューションの創出に取り組んでいます。その中でも IBM Watson と Pepper を活用したソリューションの創出は、最も注力する分野の一つであり、Scenaria はその取り組みを大きく前進させるものです。当社は、Scenaria の普及に向けて営業面での協力を行うとともに、引き続き両社と強力なパートナーシップを築いてまいります。

ソフトバンク株式会社

法人事業統括 法人事業戦略本部 新規事業推進統括部

Watson ビジネス推進部 部長 立田雅人

[ソフトバンクロボティクス株式会社様からのエンドースメント]

ソフトバンクロボティクス株式会社は、株式会社フライトシステムコンサルティングのクラウドサービス「Scenaria (シナリア)」のリリースを心より歓迎いたします。

今後、多くのお客様が「Scenaria (シナリア)」を利用し、業務に特化したチャット形式の会話

サービスと Pepper が連携することで、ロボットによる業務自動化を実現させることができます。Pepper と AI の連携により、コミュニケーションの可能性を広げ、ロボットと AI のマーケットを活性化させるものと期待しております。

ソフトバンクロボティクス株式会社

Chief Business Officer 事業推進本部 本部長 吉田健一

■Scenaria と連携する hitTO とは (<https://hitto.jp>)

ジェナでは法人を対象とした、モバイル・ロボット向けアプリケーション開発を展開しており、新しいデバイスやテクノロジーを活用したアプリケーション開発において多くの実績を有しています。2016年11月には、IBM Watson 日本語版（以下 Watson）を活用した AI チャットボットサービス「hitTO(ヒット)」の提供を開始し、ソフトバンクの Watson エコシステムパートナーとして Watson を活用したサービスを提供しています。hitTO は、ユーザーと自然な対話ができる Watson を活用した AI チャットボットサービスで、使えば使うほどチャットボットは学習して成長し、導入企業様の特性にあわせた最適な回答を自動生成することが可能になります。

■株式会社ジェナについて (<http://www.jena.ne.jp>)

ジェナは、法人向けのスマートフォン・タブレット向けアプリケーション開発に黎明期より取り組み、国内では最大規模のアプリケーション開発実績を2017年現在有しています。ロボット・AI・IoT など新しいデバイスやテクノロジーを活用したアプリケーション開発にも積極的に取り組み、優れた UI/UX を搭載するアプリケーション開発やソリューション提供において、深い知見と豊富な経験が高く評価されています。

事業内容：スマートフォンやタブレットなどのモバイルを対象としたアプリケーション開発・クリエイティブ制作、IBM Watson の活用を中心とした AI アプリ開発、Pepper の活用を中心としたロボットアプリ開発、Beacon や各種センサーの活用を中心とした IoT アプリ開発、スマートデバイス活用プラットフォーム「seap」の開発・提供、Beacon 管理プラットフォーム「Beacapp」の開発・提供、AI チャットボットサービス「hitTO」の開発・提供

※IBM Watson は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

※その他、この報道発表資料に記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

以上

株式会社フライトホールディングス

本社：東京都渋谷区恵比寿 4-6-1 恵比寿MFビル3F 電話：03-3440-6100 FAX：03-5791-2241

URL：<http://www.flight-hd.co.jp>

【 本件に関するお問い合わせ先 】

担当：松本、金

電話：03-3440-6100 FAX：03-5791-2241 e-mail：info@flight.co.jp